

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
(Tel) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 田北十生気付
(Fax) 075-574-4124

大図研全国大会（京都）に参加を！

申込期日迫る！



会員のみなさん、

いよいよ京都で行われる全国大会も間近になってきました。

大図研創立30周年大会は、大図研機関誌「大学の図書館」6月号ですでに、ご案内の通りです。

会員のみなさんはもちろん、会員外の方も誘い合わせて参加されますよう心から訴えます。

日程は、8月26日（土）10:30開会～8月28日（月）12:00までです。

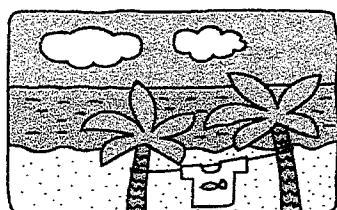
参加申し込みは、「大学の図書館」6月号と同時に配布しました郵便振込用紙をお願いします。手元にない方は、最寄りの支部委員に連絡してください。

【支部総会日程決まる！】

日 時 9月29日（金）19:00 -

会 場 京大会館（予定）

* 総会議案等は、支部報8月号～9月号に掲載します。



目次	大図研京都支部報復刻版発行！……………1頁
	新会員紹介……………1頁
	第D回京都支部委員会と第6回大会実行委員会報告…2頁
	ブックマーク 会員のホームページ紹介編……………3頁
	栗東町立図書館を訪ねて……………4頁
	5月の支部例会に参加して……………6頁
	数珠つなぎ（第51回）……………8頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付（kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp）田北まで

第31回全国大会準備状況



・**暑中お見舞い申し上げます**

大館和郎

現在、京都支部の大会実行委員会では全国大会に向けて準備を進めています。すでに「大学の図書館」6月号で大会の内容については明らかになっていますが、予定変更の部分が出てくるかも知れません。大図研全国大会では、恒例と化した感のある「地酒の会」は、今回少し趣向を凝らししました。元同志社女子大学図書館員で、平成11年度日本酒大賞受賞者の阪田美枝氏をお招きして、酒造り唄についてお話していただきます。

この酒造り唄というのは、緻密な感覚や技が要求される酒造りにおいて、唄の長さで作業工程を管理するという役割をはたしてきました。しかし現在の酒造りは工程がほとんど機械化されていて、実際に唄いながら作業するという事はないということです。しかし、酒造りを支えた杜氏さんの記憶の中には残っていたので、阪田さんは日本全国の蔵元を取材したそうです。お酒は苦手という人にも楽しんでいただけたらと思います。甘党の人のためにも何か企画をと考えています。

さてここで大会記念講演に触れる前にちょっと脱線します。最近、立花隆の本を読んでいます。彼の知的好奇心の旺盛さには圧倒されます。

田中金脈追求、共産党、農協、宇宙、脳死、サル学、コンピューターなどその関心は広範囲にわたっていますが、1996年に東京大学教養学部で学生相手におこなった講義をもとに人類史・自然史の壮大な流れの中における現在という時代の位置づけをしようという試みとして「脳を鍛える 東大講義 人間の現在(1)」(新潮社 2000.4)という本ができ、その仕事の延長線上に20世紀をふり返り、21世紀を展望しようとして「21世紀 知の挑戦」(文藝春秋 2000.7)という本ができました。

それらの本の中で彼は日本の社会全体の知的レベルがどんどん低下してきており、このままでは世界(といっても欧米が中心)に取り残されると警鐘を鳴らしています。特にサイエンスに対する関心の低下が問題点として指摘されており、日本の理科教育の水準は19世紀以前だとまで言い切っています。つまり高校の理科の履修制度と大学の入試制度が少しづつ変わり、高校で学ぶべき内容がどんどん減ってきたということです。おまけに高等学校の理科の教科書では20世紀の発見は、ほとんど学べないということになっています。そして、本気で21世紀にキャッチアップしようと思ったら、大変な努力が必要だと結論づけています。

もちろん図書館員にとっても、この話は他人事ではなく、主題研究との関連から考えていかなければならないものかも知れません。研修として組織的にできる体制はいまだ実現していませんが、まず知的好奇心という本人の内的モチベーションがないと持続したものにならないわけです。こんなことを考えながら、今年の大会記念講演「21世紀の日本の宇宙開拓とエネルギー事情」がサイエンスの最先端の研究事情に少しでも触れる機会を提供できたらと思っています。

大会プログラムについては「大学の図書館」7月号で案内済みですが、そのほかフロア一での展示も計画しています。

大会を準備する過程で思うのは、なんとかライブ感覚にあふれたものにしたいということです。参加者同士のやりとりが新しい発想やアイデアを生み出すような自由な活気あふれる大会を実現したいと思っています。

(おおだて・かずお 京都学園大学総合研究所事務室)

大学図書館問題研究会 京都支部報復刻版 (CD-ROM版)

配布・販売中!



大図研京都支部委員会

大図研 30 周年を記念して、大図研京都支部では支部報の復刻版 (CD-ROM 版) を発行します。

内容は創刊号～150号 (1978/10/28～1997/8/15) の約20年間の京都支部報の現物写真版です。検索エンジンも搭載し、拡大、縮小いづれも可能、また必要であれば、プリントアウトもでき、持ち歩きも簡単ということで、冊子体よりも使い勝手が良いということでCD-ROM版にしました。

どうしても活字でのご希望の方は、大変申し訳ありませんが、必要ページをプリントアウトしてください。(全部プリントアウトすると1,000ページを越えてしまいますのでご注意ください。)

●京都支部会員 無料配布 (送料も不要、支部報郵送先に郵送します。)

●京都支部会員以外の方で復刻版をご希望の方は、有料 (原価) 販売します。

○販売価格 (京都支部会員以外) 1枚 2,500円 (送料別途350円)

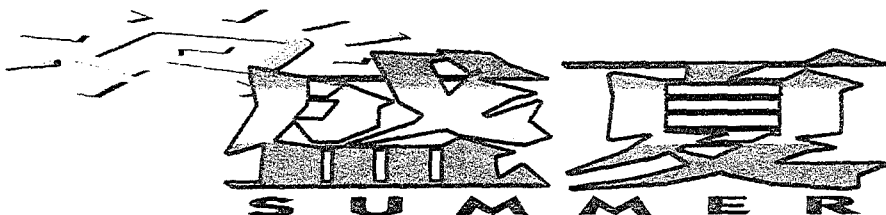
○申込方法 電子メール又はFAXで、京都支部 田北までお申し込みください。

E-Mail : kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp FAX : 075-574-4124

* mail、fax 共に宛名・送付先を明記してください。

○配布方法 申請住所へ送付します。代金は現物到着後1週間以内に現物に添付の内容にしたがって送金してください。

※大会最終日の8月28日(月)までに申し込まれた方には、
予約特価2,000円で販売します。大会期間中は現地で即売しています。
(郵送希望の場合は、送料350円が別途必要です。)



第 11 回京都支部委員会
第 7 回大会実行委員会報告 (合同委員会)

日 時：2000 年 7 月 7 日 (金) 19:00 - 21:00
場 所：京都大学附属図書館 3 F スタッフラウンジ
出 席：篠原、堤、若井、田北、井上、菅、大館

【報告事項】

1. 会員情報 (7/1 現在)
 会員数 93 名。 入会申込中 1 名 退会 2 名
2. 財政情報 (7/6 現在)
 1998 年度未納者 2 名 1999 年度未納者 11 名
 2000 年度納入者 20 名
3. 「ゆりかもめ」運用状況 (7/7 現在) 登録者数 92

【審議事項】

1. 支部報について
 - (1) 6 月号について 5 月例会感想 / 数珠つなぎ (京都橘大学から)
 - (2) 7 月号について (7 月 10 日締切)
 全国大会準備状況 / 復刻版の予約案内 / 数珠つなぎ
 - (3) 8 月号について (8 月 10 日締切)
 支部総会議案書 / 数珠つなぎ (購読会員)
 - (4) 9 月号について 数珠つなぎ
2. 支部報復刻版の発行について
 - ・再見積額 (索引の検索項目増加のため)
 630,000 円 → 682,500 円税込み
 - ・納期 見本版は次回支部委員会 (8 月 1 日) に持参
 - ・宣伝 (会報、支部報)
3. 京都支部ホームページ大会情報コーナーについて
 - ・京都観光情報
 - ・参加申込受付情報の設置
 - ・最新情報の提供
4. 「大学の図書館」全国大会案内号の非会員への配布
5. 支部総会について
 - 1) 日時・場所 9 月 29 日 (金) 19:00 - (京大会館)
 - 2) 1999 年度決算 (案)、2000 予算 (案) ・次回討議
 - 3) 次期支部委員 ・次回討議
6. 次回支部委員会
 8 月 1 日 (火) 19:00 - (京都大学附属図書館 3 F スタッフラウンジ)

大図研全国大会 (2000,8) 第 7 回実行委員会報告

【審議事項】

1. 参加申込について
 - 1) 申込状況 6 名 (うち入金確認 2 名) (人文系 5 名)
 - 2) 連絡体制 菅 (入金確認・集計) → 大館
 - 3) 受付名簿は締切日の 8 月 4 日以降に作成する。
2. 大会会計について
 - 1) 会員外の講師謝礼について
 - ・ 1 万円と 2 万円の 2 種類にする。
 - 2) 欠席者の参加費、懇親会費取り扱いについて
 (会報 7 月号に連絡事項として掲載してもらう)
 - ・ 支部の実行委員側へ事前にキャンセルの連絡があった人については、
 全額返金する。大会資料の送付を希望する人については払込全額
 から 2,500 円引いた金額を返金する。懇親会費については、8 月 18 (金)
 までに連絡がない場合は返金しない。
 - ・ 支部の実行委員側に事前にキャンセルの連絡がなかった人について
 は、資料を送付した上で、参加費は 2,500 円のみ返金する。懇親会
 費 5,000 円については返金しない。
- 3) 返金方法について
 - ・ 郵便為替の送付とする。



3. 自主企画について

- ・「図書館を自由に語る」は事情により取りやめる。
- ・代案として「京都の和菓子を楽しむ」を企画する。
- ・オプションツアーの企画を検討する。

日時 8月28日(月)午後から夕方

4. 会場準備

- ・設営は大会前日(8月25日)の18時から
- ・情報機器環境(京都支部で準備する必要があるもの)
 - 8月27日(日)午前 DAISY録音図書再生機器1台、OHP2台
 - 午後 インターネット環境1分科会
 - ノートパソコン1台、OHP2台
 - 8月28日(月)午前 インターネット環境2分科会
 - ノートパソコン3台 OHP2台
- ・PHSによる通信テスト 7月22日(土)14:00-(予定)
- ・展示について → 書店に確認する必要がある。
- ・飲物類の準備(紙コップとティーパック)
 - 8月26日(土) 1F、 8月27日(日) 2F

5. 大会運営の役割分担について(京都支部割り当て分)

1) 全体会

議長：京都支部から1名、他支部1名

記録：井上

2) 大会運営委員会

委員長：出席の全国委員から1名

委員：出席の全国委員(定数35名)

3) 大会実行委員会

実行委員長：篠原

事務局：大館、常任1名

受付・財政：菅、大綱、常任1名、+1名

会場(設営・設備・機器)：若井、井上+α

写真：堤豪範

記念講演準備：呑海沙織+α

ノートメイク：未定

出版物販売：田北、常任+α

大会速報：田北+α

ウェルカム・ガイダンス：伊藤(常任)

4) 研究発表

司会：常任

記録：井上

5) 記念講演

司会：京都支部から1名

記録：井上

6) 懇親会

司会：田北、他支部から1名(男性と女性)

6. その他

- ・資料等を入れる手提げ袋(ジュンク堂提供)200部要望

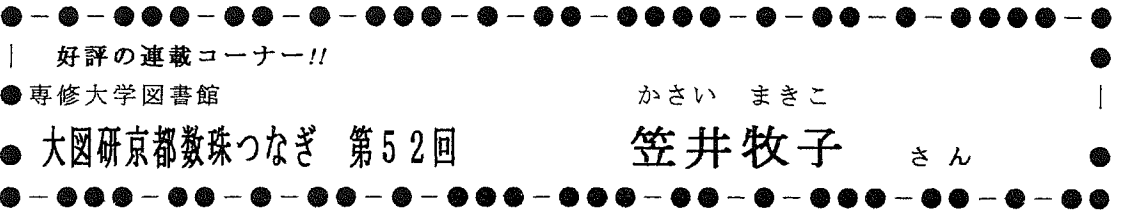
7. 次回支部委員会および大会実行委員会予定

8月1日(火)19:00-(京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ)



会費納入のお願い

1999年度会費未納の会員さんは、至急会費の納入をお願いします。
 会費についての問い合わせは財政担当支部委員の中嶋スエ子さん、又は
 最寄りの支部委員又は、編集子までお願いします。



| 好評の連載コーナー!!

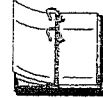
● 専修大学図書館

かさい まきこ

● 大図研京都数珠つなぎ 第52回

笠井牧子 さん

全国大会で会いましょう! (京都支部報講読会員)



はじめまして、大図研京都支部報講読会員の笠井牧子と申します。未だ大図研会員としましては2年めという新参ものではあります、皆様の活動及び研究研鑽の真摯な姿勢に学びたく、何時か京都支部正式会員として参加させていただけます日がきますことを希望もしております。

さて、せっかくでございますのでこの場をお借りしまして少しばかり、自己および勤務大学について紹介申しあげたいと思います。

現在、私は東京支部会員です。勤務大学は専修大学図書館本館生田校舎であり、通常は洋書整理を担当しています。その他の兼務業務としましては、マイクロフィルム資料・マイクロフィッシュ資料・大型の図書管理（主に整理関連業務）担当者でもあります。今年度、図書館では図書館新システムへの移行が計画されており、それにとまなう準備業務や第61回私立大学図書館協会総会・研究大会（8月2日と3日の2日間）当番校のため役割分担業務準備をしています。会期中、「専修大学創立120年記念・図書館所蔵特別資料展」を開催しておりますので、フランス革命関係の資料コレクションである「ミシェル・ベルンシュタイン文庫」や「エジプト誌」「ラ・カリカチュール誌」「蜂須賀家旧蔵本」「菊亭文庫」等ご覧いただければ幸いです。

(URL:<http://www.lib.senshu-u.ac.jp/news/exhibition.html>)

また来年4月、「21世紀の学生のための知的・感性的遊戯空間」を基本コンセプトに、生田分館という名称で、本館とは収書方針の全く異なる学生中心の図書館が発足します。小田急線向ヶ丘遊園駅下車（新宿より急行で20分）、北口より小田急バスで約10分、南口より徒歩約18分です。なお、お隣には昨年オープンいたしました川崎市岡本太郎美術館もございます。

私事になりますが、最近の専門的に細分化された日常業務と、もう一方で本質的な人間との関わりを自己内でバランスをとって生きていきたいと願う気持ちから、人生半ばにしてひとつのチャレンジ事をしてみようと考えようになりました。冊子体媒体とは別の資料媒体を扱う「学芸員」の勉強を、情報発信型の図書館人として学び大きいと感じられましたものですから、大学の通信教育で学生の身分におきながら、学習してみようと計画したのです。

かような私ではありますが、大図研第31回全国大会京都開催の会場でお見かけになりましたら是非お声がけくださいませ。一見まじめそうですが、話してみるとなかなか味わいの有るユーモアを解する人でもあります（と、本人は思っています）。では、皆様のご健勝とご活躍を祈念しつつ、お会いできますのを楽しみにいたしております。